

反社チェックサービス RISK EYES
仕様書
(リクエスト URL)

第7版

2025年4月4日

ソーシャルワイヤー株式会社

－ 目次 －

1. はじめに	5
1.1. 利用条件.....	5
2. 使用方法	6
3. パラメータについて	7
3.1. リクエストパラメータの種類	7
3.2. 検索条件の文字数制限について.....	16
3.3. 検索条件で指定できる文字列の制限について.....	17
4. バリデーション	19
4.1. エラーメッセージ一覧.....	19
5. 実装例	22
6. トークン認証	30
6.1. 利用条件.....	30
6.2. 利用方法.....	30
6.3. アクセストークン取得方法	30
6.4. 認証結果.....	31
6.5. トークン認証実装例	32
7. 留意点	36
7.1. 会員ページでのリアルタイム検索について	36
7.2. バッチ処理について.....	36
7.3. 多重のトークン発行・リクエストについて	37

－ 改訂履歴 －

版	項目	主な改訂内容 (概要)
第 1 版 2019 年 06 月 03 日	—	新規作成
第 2 版 2020 年 03 月 01 日	目次	「6.トークン認証」目次項目追加 目次項目追加に伴い、メニューの再番
	1.	1.1. 利用条件 RISK EYES の認証方法についての記述を追加
	6.	「6.トークン認証」新規追加
第 3 版 2021 年 3 月 5 日	3-1	パラメータの追加 ・備考に残す (remark) ・検索条件の保存 (condition_id)
第 4 版 2023 年 3 月 16 日	3.1	●リクエストパラメータの種類にて、パラメータを追加 ・ブログ/掲示板検索フラグ (blog_flg) ・制裁リスト検索フラグ (overseas_flg) ・アンチソーシャル DB 検索フラグ (database_flg) ・AI 判定 (ai_judge) ・懸念レベル (concern_level_select) ・英語表記 (keyword_en) ●調査媒体ごとの有効なパラメータの一覧を追加
	3.3	検索条件で指定できる文字列の制限について 「機種依存文字、環境依存文字について」の説明を追加
	7.2	バッチ処理について エラー発生時間 (AM3:00~AM5:00) を追加
	7.3	「多重のトークン発行・リクエストについて」を追加
第 4 版 2023 年 6 月 12 日	3.1	●リクエストパラメータの種類にて、パラメータを追加 ・記事登録日開始期間 (FROM) (createdate_start)
第 5 版 2023 年 11 月 13 日	3.1	● パラメータに生年期間 from (birth_from) ・生年期間 to (birth_to) を追加 ● 調査媒体ごとの有効なパラメータ表にて、懸念レベル (concern_level_select) に「新聞」を追加、生年期間 from (birth_from) ・生年期間 to (birth_to) を追加
	7.3	多重のトークン発行・リクエストについて 例と対策①②を追加

第 6 版 2023 年 12 月 26 日	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ● リクエストパラメータの種類にて、パラメータを追加 ・ ネガティブ分類の絞込 (negative_category_filter) ・ ネガティブ分類の除外 (negative_category_exclusion)
	4.1	エラーメッセージ一覧にネガティブ分類の絞込/除外について追加
第 7 版 2024 年 4 月 4 日	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ● リクエストパラメータの種類にて、パラメータを追加 ・ ダウ・ジョーンズ検索フラグ (dowjones_flg) ・ 調査キーワード (keyword_dj) ・ 生年月日 (年) (birth_year) ・ 生年月日 (月) (birth_month) ・ 生年月日 (日) (birth_day) ・ 生年範囲 (開始) (year_range_from) ・ 生年範囲 (終了) (year_range_to) ・ 国・地域 (country_territories) ・ 国・地域 (除外) (country_territories_exclude) ・ 国・地域タイプ (country_territory_types) ・ 国・地域タイプ条件式 (country_territory_type_operator)
	4.1	エラーメッセージ一覧にダウ・ジョーンズ検索に関する内容について追加

1. はじめに

この仕様書はリクエスト URL 検索の仕様について記載します。

リクエスト URL 検索は RISK EYES の会員ページ以外から絞込み条件を設定し、専用ページにて反社チェックの結果を表示する機能です。

1.1. 利用条件

I. RISK EYES の会員認証

専用ページは、取り扱うデータの著作権都合により RISK EYES の認証が必要です。認証はフォーム認証とトークン認証の 2 通りの方法があります。

- ・フォーム認証：リクエスト URL 専用ページを開くとログインフォームが表示されます。ID とパスワードを直接入力しログインしてください。ID とパスワードは RISK EYES と共通です。

※認証は会員ページと共通のため、既にログインしている場合は専用ページが表示されます。

※セッションタイムアウト（12 時間）やブラウザが異なる場合は再認証が必要です。

- ・トークン認証：アクセストークン取得 API にて、会員認証用のアクセストークンを取得し認証します。リクエスト URL 専用ページを開くとログインフォームは表示されず、ID とパスワードの入力が不要になります。

※トークン認証については 19 ページ以降で後述します。

II. 調査案件の設定

反社チェックの調査するためには調査案件が必要になります。認証後、専用ページにアクセスすると調査案件の有効性をチェックします。調査案件は調査媒体（新聞・Web）に対してそれぞれ必要になります。案件のタイプは API タイプのみ提供可能です。

2. 使用方法

リクエスト URL 検索をするための URL を記載します。

```
https://www.RISK EYES.jp/mypage/requestUrl
```

絞り込み条件の設定方法は URL にクエリ文字列 (URL パラメータ) として追加します。以下に、使用例を記載します。

※クエリ文字列とは、サーバーに情報を送るために URL の末尾に付け加えられる文字列のことです。「?」を URL の末尾に付け加え、続けて「パラメータ名(key)=値(value)」の形式で追加します。複数パラメータを指定する場合はパラメータ間の区切りに「&」を使用します。

※クエリ文字列は HTTP の使用上長さの制限はありませんが、ブラウザによって異なります。制限をオーバーした場合、本機能が正しく動かなくなる等のエラーが発生する場合があります。モダンブラウザとして知られる Chrome または Firefox であれば 32000 文字程度まで処理がされますが、Internet Explorer の場合、2000 文字を超過すると処理できなくなります。

※専用ページにアクセスした際、20 秒ほど白い画面の状態になることがありますが、正常に処理を実行しております。

例 1)

調査キーワードが「ソーシャル太郎」

ネガティブワードタイプが「標準」

調査媒体が「新聞」の場合

```
https://www.RISK EYES.jp/mypage/requestUrl?keyword=ソーシャル太郎&negative_type=0&paper_flg=1
```

例 2)

調査キーワードが「ソーシャル太郎」

ネガティブワードタイプが「反社」

調査媒体が「新聞と Web」の場合

```
https://www.RISK EYES.jp/mypage/requestUrl?keyword=ソーシャル太郎&negative_type=1&paper_flg=1&web_flg
```

※例で挙げているパラメータは必須パラメータのみの記載になります。パラメータの詳細については後述します。

※クエリ文字列の並び順に指定はありません。

3. パラメータについて

クエリ文字列で使用するパラメータの詳細について記載します。

パラメータにエラーがある場合、バリデーションでエラー判定となり検索処理を中断します。エラーの場合は画面にエラーメッセージを表示します。

※パラメータは必ず URL エンコードをしてください。UR パラメータとして使用できない記号が含まれる場合にエラーの原因になります。

※パラメータにカンマ(,)は含まないでください。調査キーワード・絞込ワード・除外ワードにスペース区切りで文字を追加することが可能ですが、カンマが含まれていると解析時に不具合の原因となります。

3.1. リクエストパラメータの種類

パラメータ名	項目名	必須	備考
keyword	調査キーワード	○	<p>任意文字列</p> <p>※テキスト一致による検索のため、入力ワードは見出し・本文に含まれやすい形式を推奨します。</p> <p>例) 人名⇒姓を空白なしで入力 ex) 松本隆司 法人名⇒法人格なし ex) 株式会社 /株式会社などは入力しない</p> <p>※空白が含有している場合、AND 検索となります。</p> <p>例) 「LINK Japan」 ⇒ 「LINK」と「Japan」が含まれる記事を報告</p>
negative_type	ネガティブワードタイプ	○	<p>デフォルト 0</p> <p>※会員ページにネガティブワードのパターンを複数設定している場合、下記リクエストに準じたネガティブワードの切り替え検索ができます。</p> <p>0: 貴社標準ネガワード 1: ネガワード 1 2: ネガワード 2 3: ネガワード 3</p>

paper_flg	新聞検索フラグ	○	固定値 = 1 調査媒体を識別するためのフラグです。 ※paper_flg、Web_flg、blog_flg、overseas_flg、database_flg のいずれかは必ず設定する必要があります。
web_flg	Web 検索フラグ	○	固定値 = 1 調査媒体を識別するためのフラグです。 ※paper_flg、Web_flg、blog_flg、overseas_flg、database_flg のいずれかは必ず設定する必要があります。
blog_flg	ブログ/掲示板検索フラグ	○	固定値 = 1 調査媒体を識別するためのフラグです。 ※paper_flg、Web_flg、blog_flg、overseas_flg、database_flg のいずれかは必ず設定する必要があります。
overseas_flg	制裁リスト検索フラグ	○	固定値 = 1 調査媒体を識別するためのフラグです。 ※paper_flg、Web_flg、blog_flg、overseas_flg、database_flg のいずれかは必ず設定する必要があります。
database_flg	アンチソーシャル DB 検索フラグ	○	固定値 = 1 調査媒体を識別するためのフラグです。 ※paper_flg、Web_flg、blog_flg、overseas_flg、database_flg のいずれかは必ず設定する必要があります。

address	地域名		<p>任意文字列</p> <p>複数指定する場合、空白区切りで調査キーワードに対し OR 検索します。</p> <p>※地域名が入らない記事も多いため極力使用せず、検索結果が多すぎる場合での活用を推奨します。</p> <p>※記事に表記される住所は、「東京都千代田区」「東京・千代田」「千代田区霞が関」など表記がバラバラなので、「都・道・府・県・市・区・町・村」は除外した表記で指定すると必要記事を極力取得できます。</p> <p>例) 東京 千代田 霞が関</p>
limit	絞込ワード		<p>任意文字列</p> <p>複数指定する場合、空白区切りで調査キーワードに対し AND 検索します。</p> <p>※ヒットした記事数が多く、法人格つき社名で検索したい場合、調査キーワードはそのまま、絞込ワードに法人格つき社名を入力し再検索すると、法人格つき社名の検索に対し検索料が追加発生することなく結果を絞り込めます。</p> <p>例) 調査キーワード ⇒ソーシャルワイヤー 絞込ワード ⇒ソーシャルワイヤー株式会社</p>
keyword_not_flg	除外ワードフラグ		<p>1:利用する</p> <p>会員ページにある『除外ワード候補の抽出 (β版)』機能を使って、調査キーワードの類似語を自動抽出します。</p>

keyword_not	除外ワード		<p>任意文字列</p> <p>自動抽出以外に文字列をリクエスト追加できます。</p> <p>複数指定する場合、空白区切りで調査キーワードに対し OR 検索します。</p> <p>※最大件数について</p> <p>自動抽出も含めて最大 990 件までとします。件数オーバーの場合、先頭から区切り文字で数え、キーワード単位で切り捨てとします。優先順位はリクエストキーワード > 自動抽出の順になります。</p>
time_period_01	掲載開始期間		yyyy/mm/dd 形式 (8 桁)
time_period_02	掲載終了期間		yyyy/mm/dd 形式 (8 桁)
createdate_start	記事登録日開始期間 (FROM)		<p>yyyy/mm/dd 形式 (8 桁)</p> <p>※記事は掲載後も更新される可能性があるため、特定の日付からの差分期間の検索をしたい際に利用します。</p> <p>例) 掲載日 18/01/10 記事登録日 19/10/16 という記事があった場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 掲載日 「2019 年 01 月 01 日～検索日 (2019 年 12 月 31 日)」 で検索すると記事はヒットしません。 ● 記事登録日 「2019 年 01 月 01 日～検索日 (2019 年 12 月 31 日)」 で検索すると A 記事はヒットします。 <p>※検索料の課金可否は本パラメータと調査キーワードの一致で判断しています。本パラメータを指定した初回検索から 31 日以内は課金 1 回のみ。ただし、調査キーワードが同一であっても本パラメータの値を変更すると課金が発生します。</p>

remark	備考に残す		<p>任意文字列</p> <p>文字列をリクエストすると、『備考に残す』機能にあるコメント欄に自動保存されます。</p>
condition_id	検索条件の保存		<p>数字 (検索条件 ID)</p> <p>保存済みの検索条件が反映されるようリクエスト追加できます。</p> <p>※リクエストしたい検索条件を選択し、『保存』ボタンを押すと下記の画面が表示されます。右下に検索条件 ID があります。</p> 
ai_judge	AI 判定		<p>1:利用する</p> <p>本機能は調査媒体「WEB」にのみ適用する絞り込み条件欄です。</p> <p>AI が「反社会的勢力・事件・不祥事などに言及する『ネガティブな記事』である確率が高い」と判定した記事だけに結果を絞り込むことが可能です。</p>

concern_level_select	懸念レベル	<p>1:懸念レベル 1 2:懸念レベル 2 3:懸念レベル 3</p> <p>本機能は調査媒体「新聞」「WEB」にのみ適用する絞り込み条件です。</p> <p>懸念レベルでの絞り込み検索では、懸念度がラベリングされた記事群を段階ごとに絞込検索できます。</p> <p>懸念レベル 1 : 懸念 iii・懸念 ii・懸念 i 懸念レベル 2 : 懸念 iii・懸念 ii 懸念レベル 3 : 懸念 iii</p>
birth_from	生年期間開始期間 (FROM)	<p>yyyy 形式 (西暦年の数字半角 4 桁)</p> <p>本機能は調査媒体「新聞」「WEB」にのみ適用する絞り込み条件です。</p>
birth_to	生年期間終了期間 (TO)	<p>yyyy 形式 (西暦年の数字半角 4 桁)</p> <p>本機能は調査媒体「新聞」「WEB」にのみ適用する絞り込み条件です。</p>
negative_category_filter	ネガティブ分類の絞込	<p>ネガティブ分類 or すべて</p> <p>本機能は調査媒体「新聞」「WEB」「ブログ/掲示板」にのみ適用する絞り込み条件です。</p> <p>ネガティブ分類を検索結果の絞り込み条件として指定できます。</p> <p>「すべて」を指定すると、すべてのネガティブ分類で絞込検索ができます。</p> <p>複数指定する場合、空白区切りで調査キーワードに対し AND 検索、複数指定するネガティブ分類は OR 検索します。</p>

negative_category_exclusion	ネガティブ分類の除外		<p>ネガティブ分類 or すべて</p> <p>本機能は調査媒体「新聞」「WEB」「ブログ/掲示板」にのみ適用する絞り込み条件です。</p> <p>「すべて」を指定すると、すべてのネガティブ分類で除外検索ができます。</p> <p>「すべて」を指定すると、すべてのネガティブ分類で絞込検索ができます。</p> <p>複数指定する場合、空白区切りで調査キーワードに対し AND 検索、複数指定するネガティブ分類は OR 検索します。</p>
keyword_en	英語表記		<p>任意文字列</p> <p>本機能は調査媒体「制裁リスト」にのみ適用する絞り込み条件です。</p> <p>調査キーワード欄に英字・数字以外が入っている場合、「英語表記」欄が入力できます。</p> <p>制裁リストは英語表記を基本とするため、調査キーワードに漢字表記を入力しても結果がヒットしない可能性があります。</p> <p>そのため、英語表記以外の調査キーワードを検索したい場合、「英語表記」欄に英語表記を入力してください。</p> <p>◆検索例</p> <p>調査キーワード ソーシャル太郎</p> <p>英字表記 Social Taro</p> <p>検索式 (ソーシャル太郎)</p> <p>or (Social and Taro)</p>
dowjones_flg	ダウ・ジョーンズ検索フラグ	○	固定値 = 1

keyword_dj	調査キーワード	○	任意文字列 ダウ・ジョーンズ専用のキーワード。アメリカ企業のデータベースのため英語表記での検索を推奨
birth_year	生年月日 (年)		yyyy 形式 (4 桁) ※生年月日と生年範囲は併用不可
birth_month	生年月日 (月)		m 形式 (1~2 桁) ※0 埋め不可 例: 1 月の場合は 1 を指定 ※月のみの指定は不可 ※生年月日と生年範囲は併用不可
birth_day	生年月日 (日)		d 形式 (1~2 桁) ※0 埋め不可 例: 1 日の場合は 1 を指定 ※日のみ、または年日の指定は不可 ※生年月日と生年範囲は併用不可
year_range_from	生年範囲 (開始)		yyyy 形式 (4 桁) ※生年月日と生年範囲は併用不可
year_range_to	生年範囲 (終了)		yyyy 形式 (4 桁) ※生年月日と生年範囲は併用不可
country_territories	国・地域		指定国名の文字列をカンマ区切り
country_territories_exclude	国・地域 (除外)		指定国名の文字列をカンマ区切り
country_territory_types	国・地域タイプ		国籍、居住地、制裁地域の 3 種の文字列をカンマ区切り ※国・地域または国・地域 (除外) を指定している場合に指定可能

country_territory_type_operator	国・地域タイプ条件式		OR または AND の文字列のいずれか ※国・地域タイプを指定している場合に指定可能 ※指定がない場合はデフォルトで OR を使用
---------------------------------	------------	--	--

調査媒体ごとの有効なパラメータ

パラメータ名	項目名	調査媒体					
		新聞	WEB	ブログ/掲 示板	制裁リスト	アンチソー シャルDB	ダウ・ジョ ーンズ
keyword	調査キーワード	○	○	○	○	○	-
negative_type	ネガティブワードタイプ	○	○	○	-	-	-
address	地域名	○	○	○	-	-	-
limit	絞込ワード	○	○	○	-	-	-
keyword_not_flg	除外ワードフラグ	○	○	○	-	○	-
keyword_not	除外ワード	○	○	○	-	○	-
time_period_01	掲載開始期間	○	○	○	-	○	-
time_period_02	掲載終了期間	○	○	○	-	○	-
createdate_start	記事登録日開始期間 (FROM)	○	○	○	-	○	-
remark	備考に残す	○	○	○	○	○	○
condition_id	検索条件の保存	○	○	○	-	○	○
ai_judge	AI 判定	-	○	-	-	-	-
concern_level_select	懸念レベル	○	○	-	-	-	-
birth_from	生年開始期間 (FROM)	○	-	-	-	-	-
birth_to	生年終了期間 (TO)	○	-	-	-	-	-
negative_category_filter	ネガティブ分類の絞込	○	○	○	-	-	-
negative_category_exclusion	ネガティブ分類の除外	○	○	○	-	-	-
keyword_en	英語表記	-	-	-	○	-	-

dowjones_flg	ダウ・ジョーンズ検索フラグ	-	-	-	-	-	○
keyword_dj	調査キーワード	-	-	-	-	-	○
birth_year	生年月日 (年)	-	-	-	-	-	○
birth_month	生年月日 (月)	-	-	-	-	-	○
birth_day	生年月日 (日)	-	-	-	-	-	○
year_range_from	生年範囲 (開始)	-	-	-	-	-	○
year_range_to	生年範囲 (終了)	-	-	-	-	-	○
country_territories	国・地域	-	-	-	-	-	○
country_territories_exclude	国・地域 (除外)	-	-	-	-	-	○
country_territory_types	国・地域タイプ	-	-	-	-	-	○
country_territory_type_operator	国・地域タイプ条件式	-	-	-	-	-	○

3.2. 検索条件の文字数制限について

検索条件で指定できる文字列の「一つのワードの長さ」は 206 文字までの制限があります。「一つのワードの長さ」とは、パラメータで指定された文字列の文字数ではなく、検索式で指定した個々の単語の文字列の文字数になります。

たとえば、"AAA BBB"という値を指定した場合は、AAA や BBB の文字数が 206 文字までになります。※"AAA BBB"の文字数 (合計の文字数) は 206 文字を超えても問題ありません。また、byte 数ではなく、あくまでも文字数での制限です。

3.3. 検索条件で指定できる文字列の制限について

- 注意が必要なワードについて

- 漢字以外の文字（ひらがな・カタカナ・英数字・記号）は1文字では検索できません。

<検索不可ワードの例>

あ か 1 & あ AND 富士通

- 全角英字は、大文字と小文字が区別されます。
- 同一とみなされる文字について
 - 半角カタカナと全角カタカナ
 - 半角数字と全角数字
 - 読点（.）とカンマ（,）
 - 句点（。）とピリオド（.）
 - 単一引用符の全角（'）と半角（'）
 - 二重引用符の全角（"）と半角（"）
 - 長音（ー）、全角ハイフン（-）、半角ハイフン（-）、全角マイナス（-）、半角マイナス（-）
- キーワードとして使えない文字について
 - 丸カッコ（）
 - 「AND」「OR」「NOT」
 - 半角カンマ、

- 機種依存文字、環境依存文字について

機種依存文字、環境依存文字は検索することができます。

しかし、新聞検索のみ、機種依存文字、環境依存文字を下駄記号（二）に自動置換し検索します。下駄記号（二）での検索をしたくない場合、機種依存文字、環境依存文字の検索が発生しないよう、制限することをご検討ください。

※新聞記事は、記事が収録される段階で、本文内の機種依存文字、環境依存文字を常用漢字に変換し、収録されます。常用漢字が存在しない場合、下駄記号（二）を代替文字としています。

4. バリデーション

リクエスト URL にアクセス後、利用条件を満たしていない場合やパラメータにエラーがある場合、バリデーションの判定が False になります。

以下では、エラーメッセージと対処方法を記載します。

4.1. エラーメッセージ一覧

メッセージ	備考
検索用の DB タイプが設定されていません。	調査案件設定時に設定する項目です。運営事務局までご連絡ください。
有効な案件が設定されていません。[エラー案件] 例) 有効な案件が設定されていません。[新聞]	調査案件設定時に設定する項目です。 ※お申込みされていない案件に対して調査媒体を指定した場合もエラーになります。両方エラーになる場合は運営事務局までご連絡ください。
ネガティブワードが設定されていません。	調査案件設定時に設定する項目です。運営事務局までご連絡ください。
キーワードが指定されていません。	必須パラメータです。
検索媒体のフラグが指定されていません。	必須パラメータです。
検索不可ワードが含まれています [エラーパラメータ名] 例) 検索不可ワードが含まれています [keyword]	(※1)
1 文字の語句を含めることはできません。(漢字は除く) [エラーパラメータ名] 例) 1 文字の語句を含めることはできません。(漢字は除く) [keyword]	(※1)
日付項目は yyyy/mm/dd の形式で指定してください。	(※1)
除外キーワード抽出中にエラーが発生しました。	API の通信エラーが発生した可能性があります。運営事務局までご連絡ください。
ネガティブ分類の絞込／除外に同じ条件が設定されています。 ネガティブ分類の条件は絞込／除外のどちらか一方のみ設定できます。 優先するべき方に設定してください。	ネガティブ分類の絞込／除外のリクエストした値を見直してください。

メッセージ	備考
ダウ・ジョーンズ用キーワードが指定されていません	dowjones_flg=1 の場合は必須パラメータ
生年の入力値が正しくありません。半角数値 4 桁で入力してください。	生年に使用不可の文字列が使用されている、または 4 桁でない
生月の入力値が正しくありません。1 から 12 までの数値を入力してください。	生年に使用不可の文字列が使用されている、または 1~12 でない
生日の入力値が正しくありません。1 から 31 までの数値を入力してください。	生年に使用不可の文字列が使用されている、または 1~31 でない
生年範囲は 4 桁の半角数字で入力してください。	生年範囲に使用不可の文字列が使用されている、または 4 桁でない
生年範囲は開始年が終了年以前となるように指定してください。	生年範囲開始が終了より大きい
生年範囲と生年月日は同時に指定できません。どちらか一方を指定してください。	生年月日と生年範囲がどちらも指定されている
指定された国名が正しくありません。	国・地域の国名が正しくない (指定値以外)
指定された国・地域タイプが正しくありません。	国・地域タイプが正しくない (指定値以外)
国・地域タイプの演算子は「OR」または「AND」を指定してください	国・地域タイプ条件式が正しくない (指定値以外)
国・地域タイプが指定されている場合、country_territories または country_territories_exclude のどちらかが必須です。	国・地域 (除外含む) の指定がなく国・地域タイプが指定されている

(※1)「3.パラメータについて」をご参照ください。

5. 実装例

実装方法は様々ありますが、以下では入力した内容をクエリ文字列として生成するパターンを記載します。言語は HTML と JavaScript を使用しており、JavaScript で動的に URL を生成し、モーダル（モーダル内に I フレームを使用）で開きます。

<HTML>

```
<ul class="inputs-list ">
  <li>
    <span>調査キーワード</span>
    <input type="text" name="keyword">
  </li>
  <li class="negative_type">
    <span>ネガティブワードタイプ</span>
    <input type="radio" name="negative_type" value="0" checked>
    <label for="negative_word_list_0">標準</label>
    <input type="radio" name="negative_type" value="1">
    <label for="negative_word_list_1">反社</label>
    <input type="radio" name="negative_type" value="2">
    <label for="negative_word_list_2">反社以外</label>
    <input type="radio" name="negative_type" value="3">
    <label for="negative_word_list_3">カスタム</label>
  </li>
  <li class="search_media">
    <span>調査媒体</span>
    <input type="checkbox" id="paper" name="paper_fig" checked="">
    <label for="paper">新聞</label>
    <input type="checkbox" id="web" name="web_fig" checked="">
    <label for="web">WEB ニュース</label>
  </li>
  <li>
    <span>地域</span>
    <input type="text" name="address">
  </li>
  <li>
    <span>絞り込み</span>
  </li>
```

```
<textarea name="limit"></textarea>
</li>
<li>
  <span>除外キーワード</span>
  <textarea name="keyword_not"></textarea>
</li>
<li class="keyword_not_flg">
  <span>除外キーワード抽出</span>
  <input type="checkbox" id="keyword_not_flg" name="keyword_not_flg" checked="">
  <label for="web">抽出する</label>
</li>
<li>
  <span>期間</span>
  <input type="text" name="time_period_01"> ~
  <input type="text" name="time_period_02">
</li>
<li class="action">
  <input type="button" value="モデル" onclick="makeUrl.showDialog()" class="btn btn-info">
</li>
</ul>
```

※ネガティブワードタイプは実際に設定している値を実装してください。

※日付項目は yyyy/mm/dd の形式にして送信する必要があります。

<Javascript>

```
<script>
  let makeUrl = {
    showDialog: function() {
      // 入力パラメータの取得
      const inputParams = makeUrl.getInputParams();

      // バリデーション
      const error = makeUrl.checkValidation(inputParams);
      if (error) {
        return false;
      }

      // URL パラメータの生成
      const urlParams = makeUrl.getUrlParams(inputParams);
      const host = (("https:" == document.location.protocol) ? "https://" : "http://");
      const url = host + "/www/RISK EYES/mypage/requestUrl?" + urlParams;
      const iframeStyle =
        'min-width : 100%; ' +
        'height : 100%; ' +
        'padding-top : 0; ' +
        'padding-right : 0; ' +
        'padding-bottom: 0; ' +
        'padding-left : 0;';
      const iframe = $('<iframe frameborder="0" src="' + encodeURI(url) + '" style="' +
        iframeStyle + '"></iframe>');
      const dialogOptions = {
        width : 640,
        height: 570,
        dialogClass: 'open-search-login',
        title : "",
        modal : true,
        open: function() {
          $('open-search-login').find('ui-dialog-titlebar-close').blur();
        }
      }
    }
  }
</script>
```

```
};

// モーダル表示位置の指定
makeUrl.centeringModalSyncer();
iframe.dialog(dialogOptions);

$("#ui-dialog-titlebar").removeClass('ui-widget-header');
},
getInputParams: function() {

    const keyword          = $("#input[name=keyword]").val();
    const negative_type    = $("#input:radio[name=negative_word_list]:checked").val();
    const address         = $("#input[name=address]").val();
    const limit           = $("#textarea[name=limit]").val();
    const keyword_not     = $("#textarea[name=keyword_not]").val();
    const time_period_01  = $("#input[name=time_period_01]").val();
    const time_period_02  = $("#input[name=time_period_02]").val();
    let keyword_not_flg   = "";
    let paper_flg         = "";
    let web_flg           = "";

    if($("#input:checkbox[name=keyword_not_flg]").prop("checked")){
        keyword_not_flg = 1;
    }

    if($("#input:checkbox[name=paper_flg]").prop("checked")){
        paper_flg = 1;
    }

    if($("#input:checkbox[name=web_flg]").prop("checked")){
        web_flg = 1;
    }

    let parameters = [];
    parameters['keyword'] = keyword;
    parameters['negative_type'] = negative_type;
    parameters['address'] = address;
    parameters['limit'] = limit;
```

```

parameters['keyword_not'] = keyword_not;
parameters['time_period_01'] = time_period_01;
parameters['time_period_02'] = time_period_02;
parameters['keyword_not_flg'] = keyword_not_flg;
parameters['paper_flg'] = paper_flg;
parameters['web_flg'] = web_flg;

return parameters;
},
checkValidation: function(inputParams) {
    // エラー用のセレクト定義
    const keyword_label_selector = $("input#keyword");
    const address_label_selector = $("input#address");
    const limit_label_selector = $("textarea#limit");
    const keyword_not_label_selector = $("textarea#keyword_not");

    if($$('.inputs-list').find('input_err')) {
        $('inputs-list').find('input_err').removeClass('input_err');
    }

    let error = false;
    // チェック処理
    const mes_keyword = checkCharacter(inputParams['keyword']);
    if( null != mes_keyword ){
        keyword_label_selector.addClass('input_err');
        $('#error_message_area').html("<p>" + mes_keyword + "<span
id='delte_mes'></span></p>");
        error = true;
    }

    var mes_address = checkCharacter(inputParams['address']);
    if( null != mes_address ){
        address_label_selector.addClass('input_err');
        $('#error_message_area').html("<p>" + mes_address + "<span
id='delte_mes'></span></p>");
        error = true;
    }

```

```
    }

    var mes_limit = checkCharacter(inputParams['limit']);
    if ( null != mes_limit ){
        limit_label_selector.addClass("input_err");
        $('#error_message_area').html("<p>" + mes_limit + "<span
id='delte_mes'></span></p>");
        error = true;
    }

    var mes_not = checkCharacter(inputParams['keyword_not']);
    if ( null != mes_not ){
        keyword_not_label_selector.addClass("input_err");
        $('#error_message_area').html("<p>" + mes_not + "<span
id='delte_mes'></span></p>");
        error = true;
    }

    return error;
},
getUrlParams: function(inputParams) {

    let urlParams = "keyword=" + encodeURIComponent(inputParams['keyword']);
    if (inputParams['negative_type']) {
        urlParams += "&negative_type=" + inputParams['negative_type'];
    }
    if (inputParams['address']) {
        urlParams += "&address=" + encodeURIComponent(inputParams['address']);
    }
    if (inputParams['limit']) {
        urlParams += "&limit=" + encodeURIComponent(inputParams['limit']);
    }
    if (inputParams['keyword_not']) {
        urlParams += "&keyword_not=" + encodeURIComponent(inputParams['keyword_not']);
    }
    if (inputParams['keyword_not_flg']) {
```

```
        urlParams += "&keyword_not_flg=" + inputParams["keyword_not_flg"];
    }
    if (inputParams["time_period_01"]) {
        urlParams += "&time_period_01=" + inputParams["time_period_01"];
    }
    if (inputParams["time_period_02"]) {
        urlParams += "&time_period_02=" + inputParams["time_period_02"];
    }
    if (inputParams["paper_flg"]) {
        urlParams += "&paper_flg=" + inputParams["paper_flg"];
    }
    if (inputParams["web_flg"]) {
        urlParams += "&web_flg=" + inputParams["web_flg"];
    }

    return urlParams;
},
centeringModalSyncer: function() {
    // 画面サイズを取得
    const w = $(window).width();
    const h = $(window).height();
    // コンテンツ配置位置の計算
    const pxleft = ((w - 640)/2);
    const pxtop = ((h - 570)/2);
    // CSS を設定
    $(".open-search-login").css({"left": pxleft + "px"});
    $(".open-search-login").css({"top": pxtop + "px"});
}
};

/* バリデーション */
function checkCharacter(str) {
    var value = new RegExp("[,]");
    if(null != str.match(value)){
        return "カンマ(,)を含めることはできません。";
    }
}
```

```
    return null;  
  }  
</script>
```

※上記コードはエラー用のセレクト等、実装環境によっては不要箇所もあります。

6. トークン認証

6.1. 利用条件

トークン認証をするためにはアクセスキーが必要になります。アクセスキーとは会員を識別するためのユニークな文字列で、トークンを取得する際に必要なパラメータです。

運営事務局にて管理しているため、トークン認証を利用する場合はご連絡をお願いします。

6.2. 利用方法

リクエスト URL 機能の基本的な使用方法は変わりません。

リクエスト URL 専用ページの URL に対して、取得したアクセストークンをクエリ文字列 (URL パラメータ) として追加することでトークン認証モードになります。

```
https://www.RISK EYES.jp/mypage/requestUrl?keyword="ソーシャル太郎"&negative_type=0&paper_flg=1&access_token="uMsAVS2rtKxMyDEjZU9BtYFP9+7TDfTyqo7lbi09fc4="
```

※クエリ文字列は URL エンコードしてください。

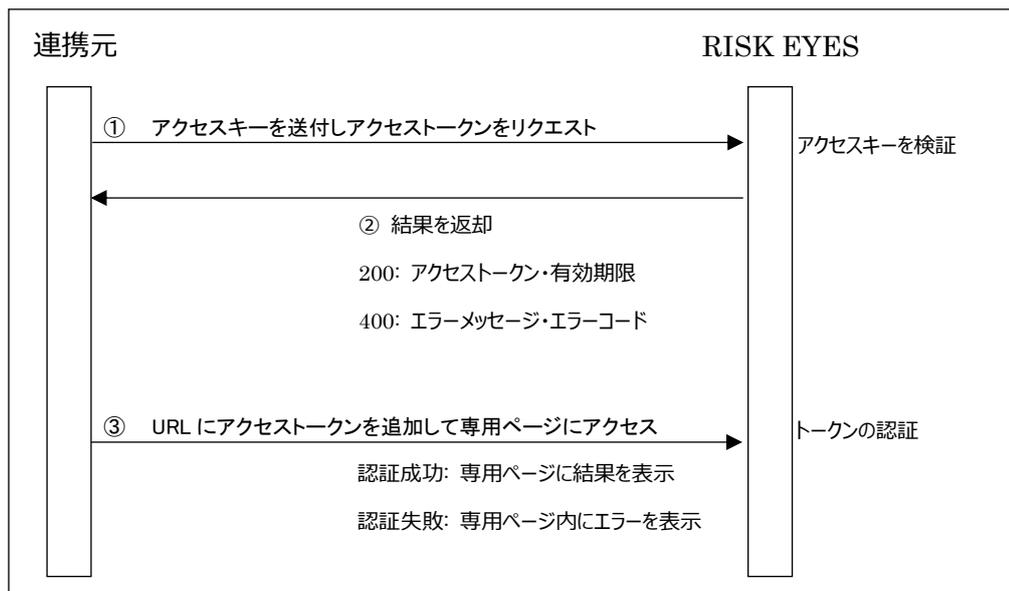
※クエリ文字列 (URL パラメータ) の順番は順不同ですが、Internet Explorer の場合、2000 文字を超過すると処理できなくなるため注意してください。

6.3. アクセストークン取得方法

アクセストークン取得 API を利用して取得してください。

API の詳細については、アクセストークン取得 API 仕様書をご覧ください。

アクセストークン取得 API を使用して、専用ページにアクセスした際のフローを下図に示します。



6.4. 認証結果

リクエスト URL にアクセス後、アクセストークンの認証に失敗した場合、専用ページにエラーを表示します。

下記エラーが表示されましたら、再度トークンを取得してお試しください。解決しない場合は、事務局までお問い合わせください。

エラーの一覧

No	エラーメッセージ
1	アクセストークンが存在しないため、認証エラーが発生しました。
2	アクセストークンの有効期限が過ぎているため、認証エラーが発生しました。

6.5. トークン認証実装例

実装方法は様々ですが、以下に一例を記載します。

<HTML>

JavaScript で URL を生成するためのボタンを用意します。

```
<input type="button" value="モーダル" onclick="makeUrl.showDialog()"
```

<Javascript>

URL 生成後、モーダル (I フレーム) でリクエスト URL 検索の画面を開きます。

```
<script>
  let makeUrl = {
    showDialog: function() {
      // アクセストークンを非同期処理にて取得
      const promise = makeUrl.getAccessToken();

      promise.done(function (token, message) {
        // エラー
        if (message !== "") {
          console.log(message);
          return false;
        }
        if (token !== "") {
          let inputParams = [];
          inputParams ['keyword'] = 'ソーシャル太郎';
          inputParams ['negative_type'] = 0;
          inputParams ['address'] = "";
          inputParams ['limit'] = "";
          inputParams ['keyword_not'] = "";
          inputParams ['time_period_01'] = "";
          inputParams ['time_period_02'] = "";
          inputParams ['keyword_not_flg'] = 1;
          inputParams ['paper_flg'] = 1;
          inputParams ['web_flg'] = 0;
          inputParams ['access_token'] = token;
        }
      });
    }
  };

```

```
// URL パラメータの生成
const urlParams = makeUrl.getUrlParams(inputParams);
const url = "https://www/RISK EYES/mypage/requestUri?" + urlParams;
const iframeStyle =
    'min-width : 100%; ' +
    'height : 100%; ';
const iframe = $('<iframe frameborder="0" src="' + encodeURI(url) + '" style="' +
iframeStyle + "></iframe>');

const dialogOptions = {
    width : 640,
    height: 570,
    dialogClass: "",
    title : "",
    modal : true,
    open: function() {
        $('open-search-login').find('ui-dialog-titlebar-close').blur();
    }
};

// モーダル表示位置の指定
makeUrl.centeringModalSyncer();
iframe.dialog(dialogOptions);
$('ui-dialog-titlebar').removeClass('ui-widget-header');
}
});
},
getAccessToken: function () {
    // アクセストークン取得 API
    const accessKey = "{{ access_key }}";
    const URL = "https://www/RISK EYES/api/token/access";
    const aryJSON = {"access_key": accessKey};
    const jsonData = JSON.stringify(aryJSON);
    let dfd = $.Deferred();
    $.ajax({
        url: URL,
```

```
        type: 'POST',
        contentType: 'application/json',
        data: jsonData,
        dataType: 'json',
        processData: false,
    })
    .done(function (data) {
        if (data.status == 200) {
            dfd.resolve(data.token, "");
        } else {
            dfd.resolve("", data.errors.message);
        }
    })
    .fail(function (jqXHR, textStatus, errorThrown) {
        dfd.resolve("", "System error");
    });

    return dfd.promise();
},
getUrlParams: function(inputParams) {
    let urlParams = "keyword=" + encodeURIComponent(inputParams["keyword"]);
    if (inputParams["negative_type"]) {
        urlParams += "&negative_type=" + inputParams["negative_type"];
    }
    if (inputParams["address"]) {
        urlParams += "&address=" + encodeURIComponent(inputParams["address"]);
    }
    if (inputParams["limit"]) {
        urlParams += "&limit=" + encodeURIComponent(inputParams["limit"]);
    }
    if (inputParams["keyword_not"]) {
        urlParams += "&keyword_not=" + encodeURIComponent(inputParams["keyword_not"]);
    }
    if (inputParams["keyword_not_flg"]) {
        urlParams += "&keyword_not_flg=" + inputParams["keyword_not_flg"];
    }
}
```

```

    if (inputParams['time_period_01']) {
        urlParams += "&time_period_01=" + inputParams['time_period_01'];
    }
    if (inputParams['time_period_02']) {
        urlParams += "&time_period_02=" + inputParams['time_period_02'];
    }
    if (inputParams['paper_flg']) {
        urlParams += "&paper_flg=" + inputParams['paper_flg'];
    }
    if (inputParams['web_flg']) {
        urlParams += "&web_flg=" + inputParams['web_flg'];
    }
    if (inputParams['access_token']) {
        urlParams += "&access_token=" +
        encodeURIComponent(inputParams['access_token']);
    }

    return urlParams;
},
centeringModalSyncer: function() {
    // 画面サイズを取得
    const w = $(window).width();
    const h = $(window).height();
    // コンテンツ配置位置の計算
    const pxleft = ((w - 640)/2);
    const pxtop = ((h - 570)/2);
    // CSS を設定
    $(".open-search-login").css({"left": pxleft + "px"});
    $(".open-search-login").css({"top": pxtop + "px"});
}
};
</script>

```

※上記例ではアクセスキーを PHP 側で定義し、twig 変数{{ access_key }}を使用して値を表示します。

※上記例では検索ワードを固定にしていますが、導入するシステムにあわせて実装してください。

※上記例ではバリデーションを省略しているため、導入するシステムにあわせて実装してください。

7. 留意点

7.1. 会員ページでのリアルタイム検索について

(1) 検索料について

記事がヒットした取引先に関する記事は、会員ページでリアルタイム検索を実行し閲覧が可能です。その場合、同一の調査キーワード（法人名・個人名）において、記事数表示 API もしくはリアルタイム検索の初回検索から 31 日以内であれば、記事数表示 API もしくはリアルタイム検索で再検索した場合、検索料は追加発生いたしません。

ただし、記事数表示 API もしくはリアルタイム検索の初回検索から 31 日以内で再検索した場合、初回検索時点で収録されている記事を検索します。

たとえば、同一の調査キーワードにおいて、初回検索が 12 月 1 日の場合、12 月 31 日までは 12 月 1 日時点で収録されている記事を再検索します。そのため、12 月 20 日に収録された記事は閲覧できません。

また 1 月 1 日に再検索した場合、初回検索から 32 日以上経過しているため、再度初回検索扱いとなります。検索料が課金され、1 月 1 日時点で収録されている記事を検索します。

(2) 記事数の差異について

記事数表示 API・リアルタイム検索にて初回検索・再検索した場合、同一の調査キーワードであっても記事数の異なる結果が表示される場合があります。

これは定常的に不定期で収録記事・除外ワードのメンテナンスを行っているためです。あらかじめご了承ください。

7.2. バッチ処理について

記事数表示 API を用いて、バッチ処理プログラムを組んでいただくことは可能です。その際、システム負荷の増大で検索エラーが多発し全顧客に悪影響を及ぼす可能性があるため、同会員内において、新聞・WEB 毎に記事数表示 API を複数同時に起動、並行処理することはおやめください。

（記事数表示 API-新聞を 1 本、記事数表示 API-WEB を 1 本、同時起動・並行処理することは可能です）

なお、夜間はシステム更新を頻繁に行なっているため、システムが重い可能性がございます。そのため、バッチ処理の起動可能時間は AM6:00~PM22:00 までとします。

※AM3:00~AM5:00 はバックアップ中のため、必ずエラーになります。

7.3. 多重のトークン発行・リクエストについて

(1) 会員認証 API によるトークン発行

会員認証 API を同時刻に複数回リクエストすると、同時刻に全く同じトークンが複数発行されます。有効なトークンはユニークとしているため、記事数取得 API のトークン認証でトークンが複数一致となり不正と処理をします。

また並列処理でのリクエストは禁止としております。会員認証 API のリクエストのタイミングをご検討ください。

例 会員認証 API のトークン発行が同時に複数回リクエストされると最新で発行されたトークンのみ、有効となります。

1 回目 2023/11/** 18:08:04 ←無効
2 回目 2023/11/** 18:08:04 ←無効
3 回目 2023/11/** 18:08:04 ←有効

<対策①> トークンの発行タイミングの見直し

トークンは 1 度発行すれば 24 時間有効です。

例として、毎日初めてリクエストした際に発行したトークンを、その日の 2 回目以降のリクエストに流用してください。

<対策②> 交互にリクエストする

会員認証 API→記事数取得 API→【結果取得】→会員認証 API→記事数取得 API→【結果取得】と交互にリクエストしてください。

※検索結果の取得を待たずに新たなトークン発行がされると、最初にリクエストした際に発行したトークンは【検索中に無効】となり、最新で発行したトークンだけが有効=最新のトークンでのリクエストのみ結果が返却されます。

結果取得を確認後、次のリクエストが動くフローにしてください。

(2) リクエスト

検索結果が返却される前に、同一の調査キーワードを複数回検索した場合、検索料が二重で課金される可能性がございます。多重検索が発生しないよう、制限することをご検討ください。なお、本事由による検索料の二重課金が発生した場合、課金の取り消しは行いません。

その他、検索の留意点などはリアルタイム検索のヘルプページをご参照ください。

※ヘルプページは RISK EYES をご利用中の会員限定ページです。

会員ページのメニュー「アカウント」>「マニュアル」からヘルプページをご確認ください。
なお、ヘルプページは会員以外への共有は禁止しております。

以上